

平成 2 9 年度 事業報告書
(平成 2 9 年 4 月 1 日 ~ 平成 3 0 年 3 月 3 1 日)

公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団

．事業の概況

美術、音楽、舞台芸術などの芸術文化分野における個人、団体の優れた芸術文化活動を促進する活動へ助成を実施した。

また、芸術文化資産を活かしながら芸術文化創造の支援をするため、アサヒビール大山崎山荘美術館の運営等の文化事業を行った。

1．芸術文化活動助成部門

「事業の総括」

選考委員の斬新な評価により、地域性も加味し、助成件数を絞り込み、助成先への貢献を高める助成を行った。また、授与式を開催し、助成対象者同士並びに選考委員との交流、意見交換の場とするとともに、主に選考委員の方々による現地での活動視察を実施し、助成フォローの充実に注力した。

「事業の概要」

当財団の事業活動の主要分野である美術、音楽、舞台芸術分野への活動助成は、合計42件22,000千円であった。

計画どおりの内容であり、内訳は以下の表の通り。

平成29年度助成内訳

件名		助 成	
		件 数	金額（千円）
芸術文化活動助成	美 術	15	7,400
	音 楽	13	7,300
	舞台芸術	14	7,300
合 計		42	22,000

また、伝統工芸の技術の保存と活用、伝統文化向上に寄与する目的で開催されている日本伝統工芸展へ50万円の助成を行った。

2．美術館運営部門

「事業の趣旨」

当財団は、平成8年から、アサヒビール社より「アサヒビール大山崎山荘美術館」の運

営を委託されており、これに伴い、美術館運営事業を行ってきている。

所蔵品・建物・自然環境という大山崎山荘美術館ならではの資源を活かし、関西はもとより、広く芸術文化の拠点として、情報発信に努めている。

「事業の総括」

大山崎山荘美術館は、平成29年4月で開館21年を迎えた。

事業に関しては、企画展を開催し、来館いただいたお客様のご満足を得ており、新聞、雑誌、テレビ等、マスコミに取り上げていただくとともに、美術館のブログを通じて、四季折々の自然や行事の情報をタイムリーに発信し、認知度向上に努めた。

また、地元小学校を対象にした出前授業、美術館での招待授業など、地域との連携による芸術教育普及活動を継続して実施した。

なお、6～8月に大規模修繕工事を行い、その間、休館した。

来館者数については、休館期間もあり、56,229人であり、開館20周年特別展開催があった平成28年度(87,675人)と比較して、64%となったが、計画(46,500人)に対しては、121%となった。

今後も、来館者への満足度向上を目指し、館員一丸となって取り組んでいく。

「事業の概要」

【企画展】

大山崎山荘と親和性の高い次の企画を実施した。

会期	企画名
3.18～5.28	「生誕150年記念 漱石と京都 花咲く大山崎山荘」
9.16～12.10	「有元利夫展 物語をつむぐ」
12.16～30.4.8	「没後40年 濱田庄司展 山本爲三郎コレクションより」

山荘を設計・建築した加賀正太郎は、山荘の命名を夏目漱石に依頼し、漱石は山荘の名前案(14案)を加賀に提案したが、加賀は提案された案ではなく、地名をとって大山崎山荘と命名した。

有元利夫(1985年38才で早世した画家)は、静寂感のある美しい作風で今も多くの人々を魅了し続けており、作品は大山崎山荘が醸し出す荘厳さとマッチしている。

アサヒビール初代社長山本爲三郎は、民藝運動を篤く支援したが、その盟友が陶芸家濱田庄司である。

【情報発信】

マスコミへ積極的に情報発信した。「生誕150年記念 漱石と京都-花咲く大山崎山荘」においては、書簡発見が取り上げられ、漱石アンドロイド来館時にはテレビ局3局を含む取材を受けた。「有元利夫展-物語をつむぐ」では9～11月の記事掲載は25件と前年の開館20周年記念「クロード・モネ うつくしい暮らし、あたらしい響き」と同件数となった。「没後40年 濱田庄司展-山本爲三郎コレクションより」では、濱田庄司翁と山本爲三郎翁との関係に訴求する発信を行い、記事となった。また、BS日テレの「ぶらぶら美術・博物館」で当館が取り上げられ、3月16日放送された。社内では、アサヒグループホールディングス社広報部門の支援を得て、例年に比べて多数のイントラネット上や社内報の掲載ができ、美術館の魅力を発信した。

【大規模修繕】

6～8月に大規模修繕(耐震補強工事、雨漏り・結露対応工事、トイレ給水増圧工事、展示ケース照明LED化)を実施した。近隣住民の方々、行政のご理解を得るとともに、設計・施工業者、アサヒグループ各社とも連携を密にとり、納期どおり完了した。

3. 平成29年度 主な事業活動

平成29年度(29年4月1日～30年3月31日)

年	月	日	項目	摘要
平成 29	3	18	大山崎山荘美術館企画展	「生誕150年記念 漱石と京都-花咲く大山崎山荘」(～5月28日)
	4	10	平成29年度助成授与式	
	5	8	第1回理事会(書面決議)	・評議員候補者承認の件
	5	19	評議員会(書面決議)	・評議員選任の件
	6	1	大山崎山荘美術館大規模修繕工事	(～8月31日)
	6	1	第2回理事会	・平成28年度事業報告、決算書類等承認の件 ・評議員候補者承認の件 ・諸規程変更の件 ・定時評議員会招集の件
	6	16	定時評議員会	・平成28年度事業報告の報告、決算書類等承認の件 ・評議員選任の件 ・役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程変更の件 ・委員の報酬等並びに費用に関する規程変更の件
	9	16	大山崎山荘美術館企画展	「有元利夫展-物語をつむぐ」(～12月10日)
	11	1	助成公募開始	募集期間：～12月1日
	12	16	大山崎山荘美術館企画展	「没後40年 濱田庄司展-山本爲三郎コレクションより」(～30年4月8日)
30	1	30	選考委員会	美術部門案件の選考
	2	13	選考委員会	舞台芸術部門案件の選考
	2	21	選考委員会	音楽部門案件の選考
	3	8	第3回理事会	・平成30年度事業計画書及び収支予算書等承認の件 ・平成30年度助成・選考委員会答申書承認の件 ・「職務執行権限規程」及び「理事の職務権限規程」改定の承認の件 ・「理事会運営規程」改定の承認の件

． 処務の概要

1． 役員等に関する事項

評議員の異動

平成29年度中の財団人事は、次の通り。

平成29年5月19日	評議員	退任	佐藤 郁夫
	評議員	選任	加賀美 昇
平成29年6月16日	評議員	退任	櫻井 修
	評議員	選任	村上 仁志

平成29年度末の現職役員、評議員及び選考委員は次の通り

役職名	氏名	就任年月日	担当職務	主な職業
代表理事	泉谷 直木	28-06-24	本法人代表	アパグループホールディングス 会長
業務執行 理事	粟津 晶	28-06-24	業務全般	財団常勤
理事	竹内 順一	28-06-24		東京藝術大学名誉教授
同	尾崎 正明	28-06-24		茨城県近代美術館館長
同	岡部 真一郎	28-06-24		明治学院大学教授
同	吉井 澄雄	28-06-24		日本照明家協会名誉会長
同	木下 直之	28-06-24		東京大学大学院教授
監事	西村 勝秀	28-06-24		公認会計士西村勝秀事務所
同	松田 隆次	28-06-24		松田法律事務所
評議員	末松 謙一	28-06-24		三井住友銀行名誉顧問
同	村上 仁志	29-06-16		三井住友信託銀行特別顧問
同	高嶋 達佳	28-06-24		電通相談役
同	前田 新造	28-06-24		資生堂相談役
同	根津 公一	28-06-24		根津美術館館長
同	大林 剛郎	28-06-24		大林組会長
同	加賀美 昇	29-05-19		アパグループホールディングス取締役
選考委員	建畠 哲	28-06-03	美術部門	多摩美術大学学長
同	薩摩 雅登	28-06-03	同	東京藝術大学教授
同	伊東 正伸	28-06-03	同	国際交流基金文化事業部長
同	大西 若人	28-06-03	同	朝日新聞編集委員
同	奥田 佳道	28-06-03	音楽部門	音楽評論家
同	沼野 雄司	28-06-03	同	桐朋学園大学教授
同	望月 京	28-06-03	同	明治学院大学教授
同	岸田 真	28-06-03	舞台芸術部門	桜美林大学教授

同	森元 隆樹	28-06-03	同	三鷹市芸術文化センター 演劇企画員
同	唐津 絵理	28-06-03	同	愛知県芸術劇場 シニアプロデューサー

2. 職員に関する事項

なし

3. 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開会年月日	議事々項	会議の結果
29-05-08	第1回理事会 ・ 評議員候補者承認の件	原案通り承認
29-06-01	第2回理事会 ・ 平成28年度事業報告、決算書類等承認の件 ・ 評議員候補者承認の件 ・ 諸規程変更の件 ・ 定時評議員会招集の件	原案通り承認 原案通り承認 原案通り承認 原案通り承認
30-03-08	第3回理事会 ・ 平成30年度事業計画書及び収支予算書等承認の件 ・ 平成30年度助成・選考委員会答申書承認の件 ・ 「職務執行権限規程」及び「理事の職務権限規程」改定の承認の件 ・ 「理事会運営規程」改定の承認の件	原案通り承認 原案通り承認 原案通り承認 原案通り承認

(2) 評議員会

開会年月日	議事々項	会議の結果
29-05-19	評議員会 ・ 評議員選任の件	原案通り承認
29-06-16	定時評議員会 ・ 平成28年度事業報告の報告、決算書類等承認の件 ・ 評議員選任の件 ・ 役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程変更の件 ・ 委員の報酬等並びに費用に関する規程変更の件	原案通り承認 原案通り承認 原案通り承認 原案通り承認

4. 許可、認可及び承認に関する事項

該当事項なし

5. 契約に関する事項

該当事項なし

6. 寄付に関する事項

寄付の目的	寄付者	申込金額	領収金額	受入年月日
助成活動運営資金	アサヒグループホールディングス株式会社	42,800,000 円	40,000,000 円	29-04-28
			2,800,000 円	29-07-03
	年度合計	42,800,000 円	42,800,000 円	
美術館運営資金	アサヒグループホールディングス株式会社	127,200,000 円	40,000,000 円	29-04-28
			40,000,000 円	29-07-03
			30,000,000 円	29-08-31
			10,000,000 円	29-10-27
	7,200,000 円	29-12-08		
年度合計	127,200,000 円	127,200,000 円		
財団合計		170,000,000 円	170,000,000 円	

7. 行政庁指示に関する事項

該当事項なし

8. その他 重要事項

該当事項なし

附属明細書

平成29年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しない。

平成30年6月

公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団

以上